

## Dシート)社会資源利用の可能性が低い場合のサポート(本人)

Cシートで社会資源利用の可能性が低い場合は、次のようなサポートを考えてみましょう。

本人

	項目	項目の評価が低い時のサポート
1	家からの外出	本人の好みを聞き、外出の機会を作り、楽しい経験をしてもらえるようにする。
2	家族がそばにいない状態	除々に慣れてもらう機会を作る。家族には本人が気付かないうちに別の場所に離れる、帰ってもらうなどする。
3	皆と一緒にの飲食	緊張をほぐす。落ち着ける場になるよう、本人が失敗しないよう、できることをできるように支援する。
4	トイレ(介助しても)	緊張をほぐす。落ち着ける場になるよう、本人が失敗しないよう、できることをできるように支援する。
5	希望を言える	希望を時間をかけても聞く。選択肢を提示する。
6	できないことを隠さない	隠さなくてもよいことを繰り返し伝える。できることもあることを伝える。できないと言っている本人を肯定する。
7	人に頼れる	頼ってもいいことを伝える。本人を頼ってみる。
8	意欲	できることをしてもらい、できたことを本人に伝える。一緒に振りかえる。
9	自分なりに利用する意味がある	サービスに対してどのようなイメージを持っているのか、時間をかけても聞いていく。

本シートは開発途中のものです。ご使用になる場合は、NPO 法人認知症の人とみんなのサポートセンターにご相談ください。

